

協働のまちづくりアンケート
結果報告書

平成31年3月

西東京市

アンケート実施の概要

1 目的

「市民活動団体との協働の基本方針」を見直すにあたり、集計結果を基礎資料として活用し、より効果的な協働のまちづくりの推進に役立てるため。

2 期間

平成30年12月7日（金曜日）～平成31年1月11日（金曜日）

3 実施方法

郵送及びEメール

4 対象

市民協働推進センターゆめこらぼの登録団体、西東京市NPO等企画提案事業実施団体および西東京市に主たる事務所を置くNPO法人（218団体）

5 回答数・回答率

113団体・52%

6 報告書の見方

- ・本文や図表中の選択肢表記等は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- ・自由記述や「その他」の回答は、一部表現を補足・修正・抜粋している。
- ・集計は、小数点第一位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・設問によっては、未回答の団体や、「複数回答可」以外の設問にも複数の回答をした団体があったため、団体の回答数と各設問の回答数が一致しない場合がある。

協働のまちづくりアンケート集計結果

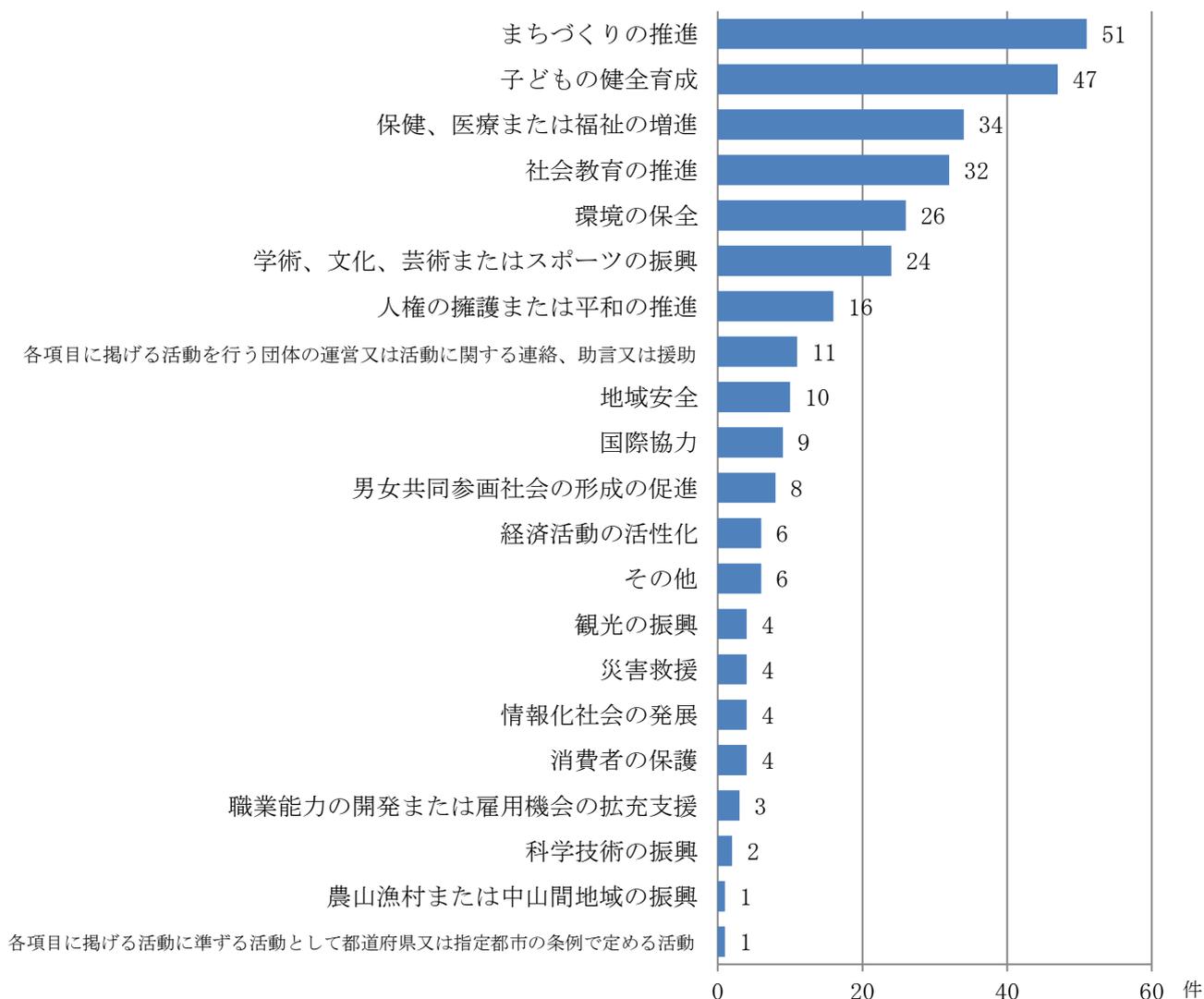
1. あなたの団体についてお伺いします。

問1 団体の概要についてご記入ください。

(団体名、代表者名等を回答する設問のため省略)

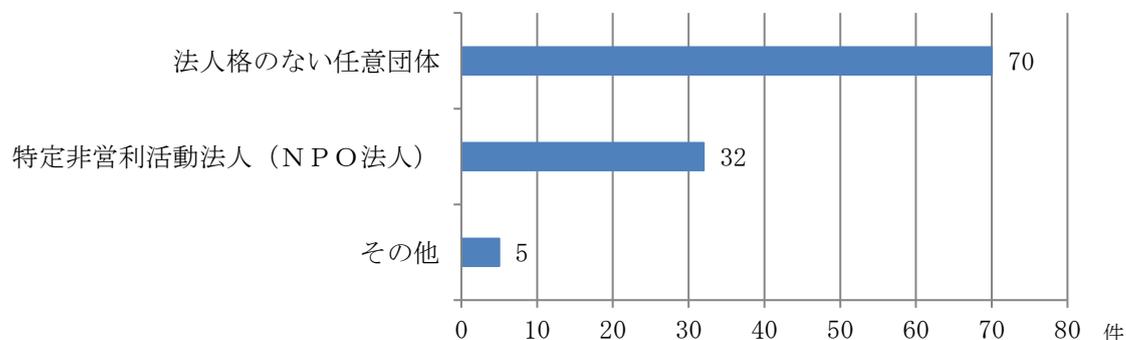
問2 団体の活動内容について、該当するものに○をつけてください。
(複数回答可)

(回答件数=303)



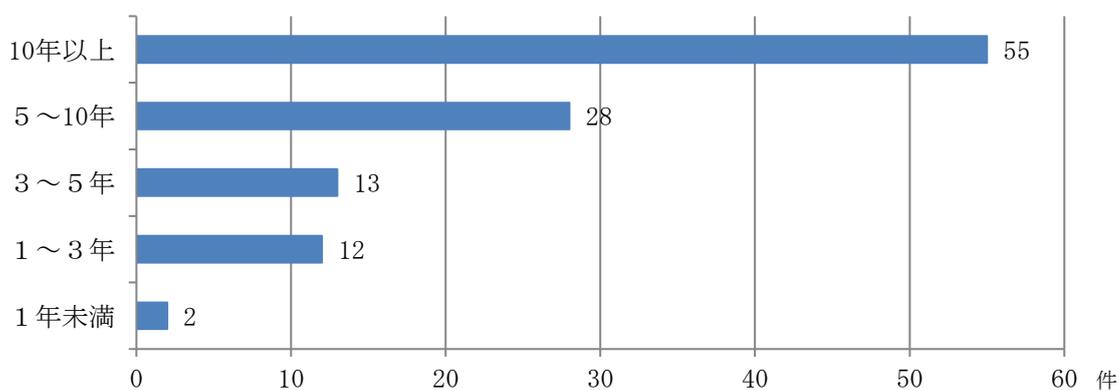
団体の活動内容について聞いたところ、51件 (17%) が「まちづくりの推進」と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が47件 (16%)、「保健、医療または福祉の増進」が34件 (11%) であった。

問3 団体の法人格の取得の有無について、該当するものに○をつけてください。
(回答件数=107)



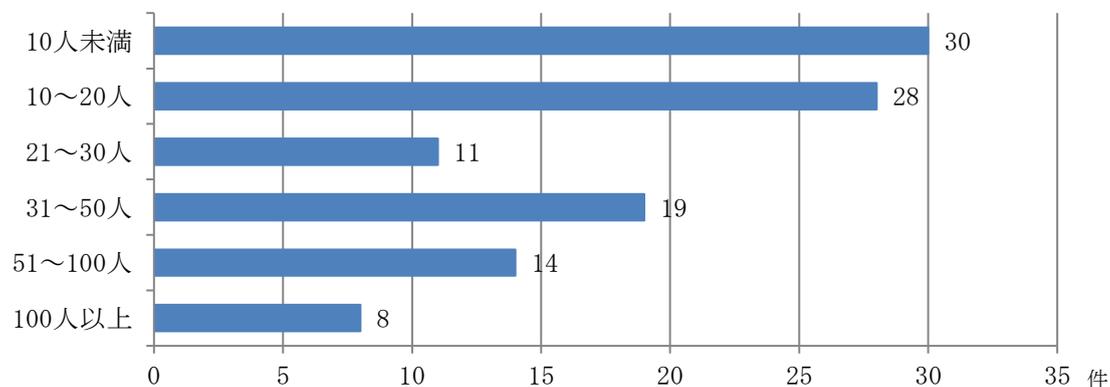
団体の法人格の取得の有無について聞いたところ、「法人格のない任意団体」が70件 (65%)、「特定非営利活動法人 (NPO法人)」が32件 (30%)であった。

問4 団体の活動年数について、該当するものに○をつけてください。
(回答件数=110)



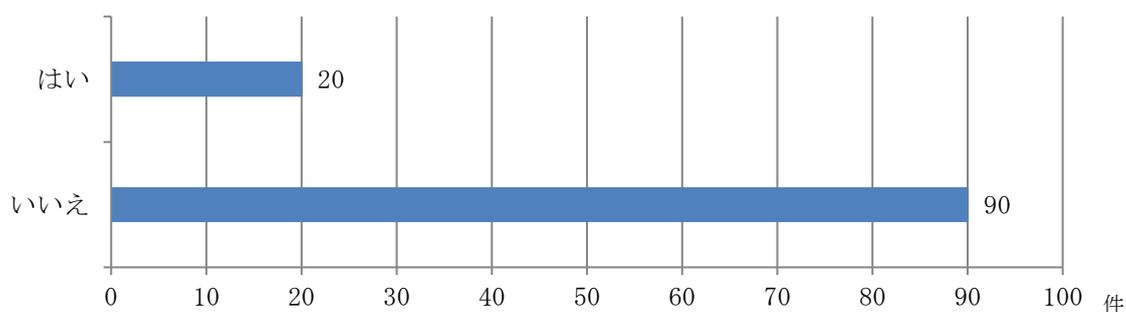
団体の活動年数について聞いたところ、「10年以上」が55件 (50%)と最も多く、次いで「5～10年」が28件 (25%)、「3～5年」が13件 (12%)であった。

問5 団体の構成人数について、該当するものに○をつけてください。
(回答件数=110)



団体の構成人数について聞いたところ、「10人未満」が30件（27%）と最も多く、次いで「10～20人」が28件（25%）、「31～50人」が19件（17%）であった。

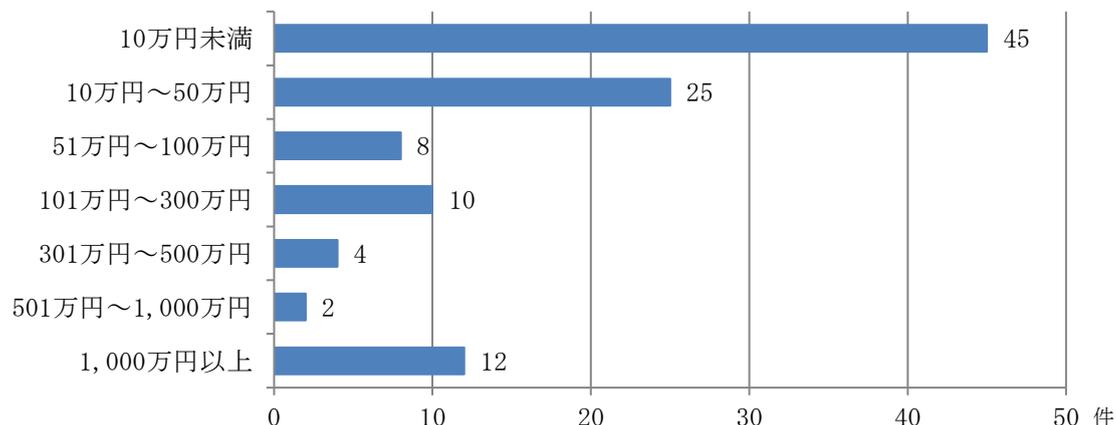
問6 団体の活動において、団体から給料等を貰っている構成員はいますか？
該当するものに○をつけてください。
(回答件数=110)



団体の活動において、団体から給料等を貰っている構成員の有無について聞いたところ、「はい」が20件（18%）、「いいえ」が90件（82%）であった。

問7 団体の財政規模（昨年度の決算額）について、該当するものに○をつけてください。

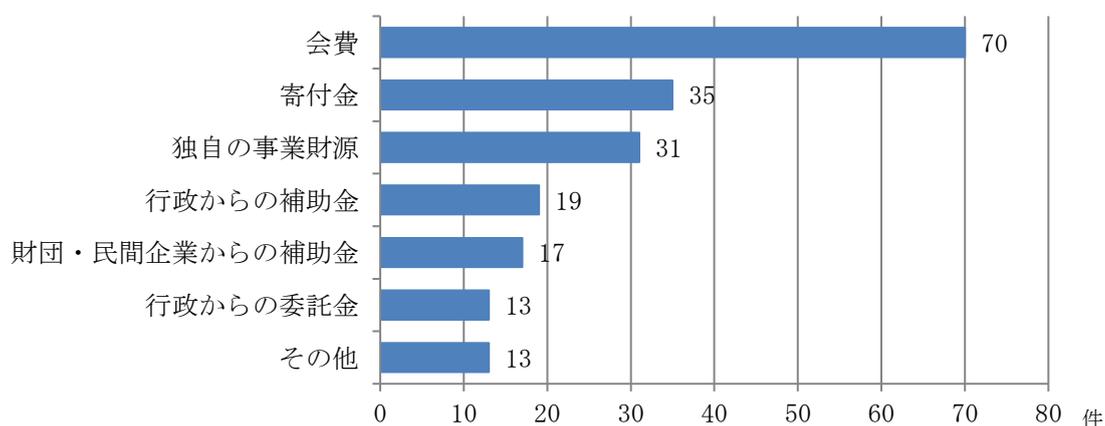
（回答件数=106）



団体の財政規模（昨年度の決算額）について聞いたところ「10万円未満」が45件（42%）と最も多く、次いで「10～50万円」が25件（24%）、「1,000万円以上」が12件（11%）であった。

問8 団体の収入源について、該当するものに○をつけてください。
（複数回答可）

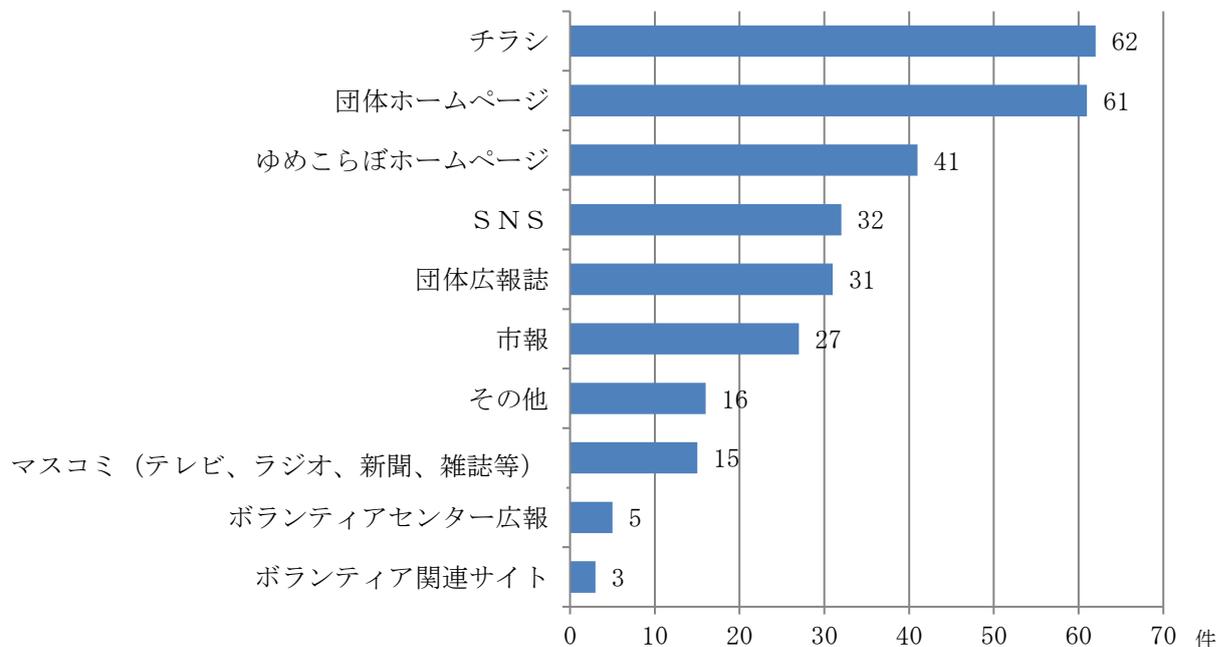
（回答件数=198）



団体の収入源について聞いたところ、「会費」が70件（35%）と最も多く、次いで「寄付金」が35件（18%）、「独自の事業財源」が31件（16%）であった。
なお、「その他」として、「構成員の自己負担」や「民間の助成金」、「イベント参加費収入」などの回答があった。

問9 団体が活用している主な広報媒体について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=293）



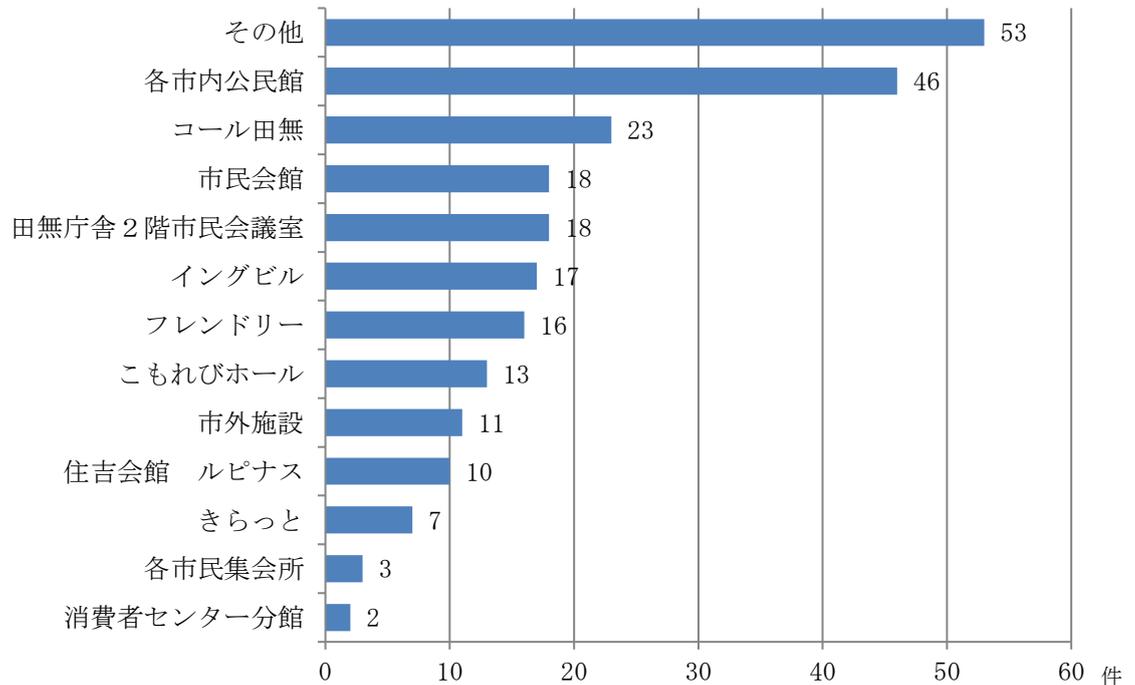
団体が活用している主な広報媒体について聞いたところ、「チラシ」が62件（21%）と最も多く、次いで「団体ホームページ」が61件（21%）、「ゆめこらぼホームページ」が41件（14%）であった。

なお、「その他」として、「口コミ」や「公民館広報誌」、「多摩六都科学館ホームページ」などの回答があった。

2. あなたの団体の活動状況についてお伺いします。

問10 団体がイベントを実施する際の主な活動施設として、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=237）



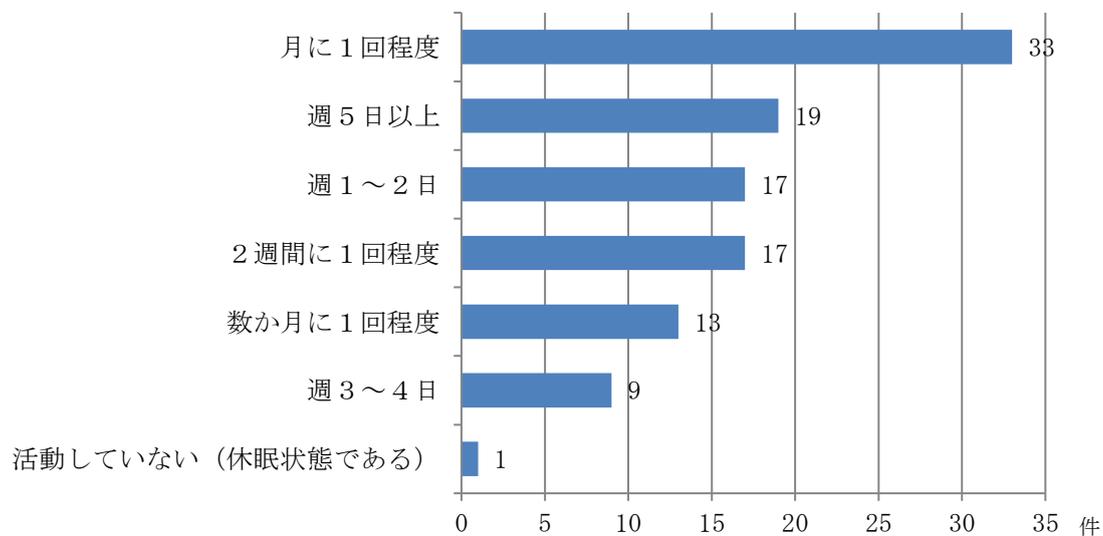
団体がイベントを実施する際の主な活動施設について聞いたところ、「その他」が53件（22%）と最も多く、次いで「各市内公民館」が46件（19%）、「コール田無」が23件（10%）であった。

なお、最も多い「その他」では、「西東京いこいの森公園」や「各市内児童館」、「団体が所有する施設」などの回答があった。

また、「各市内公民館」では、「田無公民館」や「柳沢公民館」などの回答があった。

問11 団体の活動頻度（打ち合わせを含む）について、該当するものに○をつけてください。

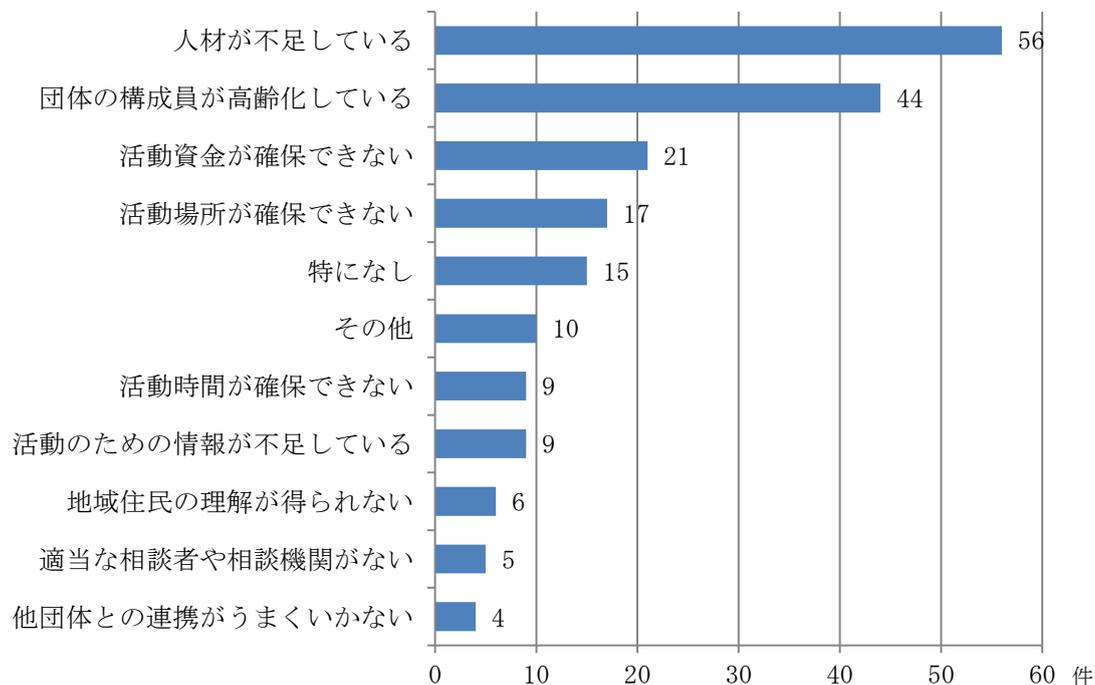
（回答件数=109）



団体の活動頻度（打ち合わせを含む）について聞いたところ、「月に1回程度」が33件（30%）と最も多く、次いで「週5日以上」が19件（17%）、「週1~2日」および「2週間に1回程度」が17件（各16%）であった。

問12 団体の運営上の課題はありますか？
該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=196）

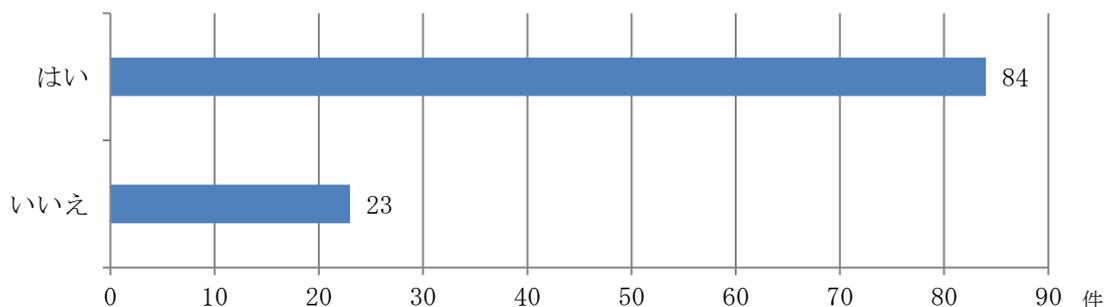


団体の運営上の課題について聞いたところ、「人材が不足している」が56件（29%）と最も多く、次いで「団体の構成員が高齢化している」が44件（22%）、「活動資金が確保できない」が21件（11%）であった。

なお、「その他」として、「広報」や「多忙」、「若い世代へのコンタクト」などの回答があった。

問13 団体の活動をする上で、他団体との連携が必要だと感じることはありますか？該当するものに○をつけてください。

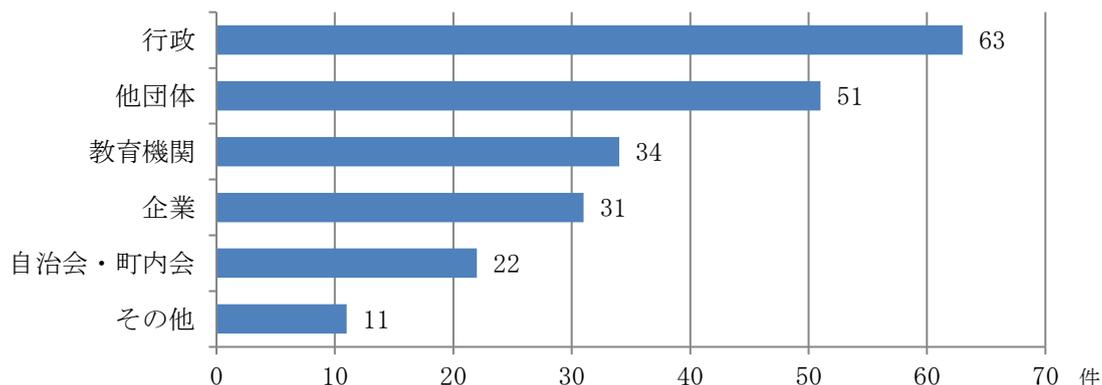
(回答件数=107)



団体の活動をする上での、他団体との連携の必要性の有無について聞いたところ、「はい」が84件（79%）、「いいえ」が23件（21%）であった。

問14 問13で、「はい」と回答した方にお伺いします。必要だと感じる連携先について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

(回答件数=212)



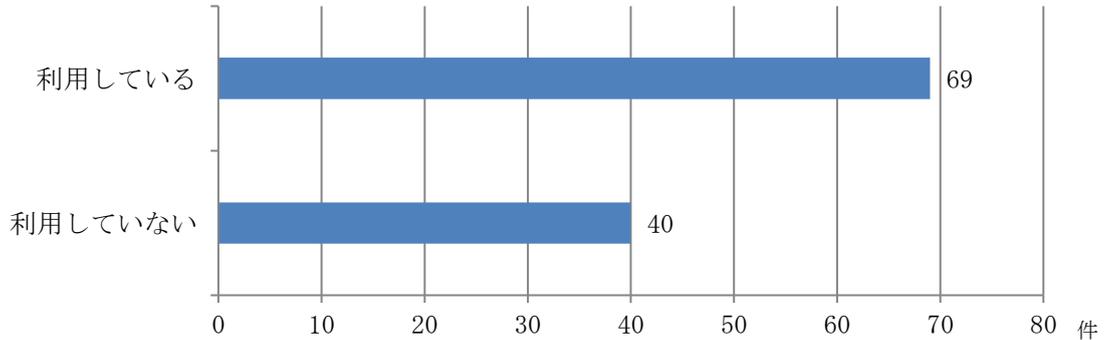
問13で、「はい」と回答した団体において、必要だと感じる連携先について聞いたところ、「行政」が63件（30%）と最も多く、次いで「他団体」が51件（24%）、「教育機関」が34件（16%）であった。

なお、「その他」として、「市内商店街」や「医療機関」、「時間の融通が利く近隣住民」などの回答があった。

3. 西東京市市民協働推進センターゆめこらぼについてお伺いします。

問15 現在のゆめこらぼの利用状況について、該当するものに○をつけてください。

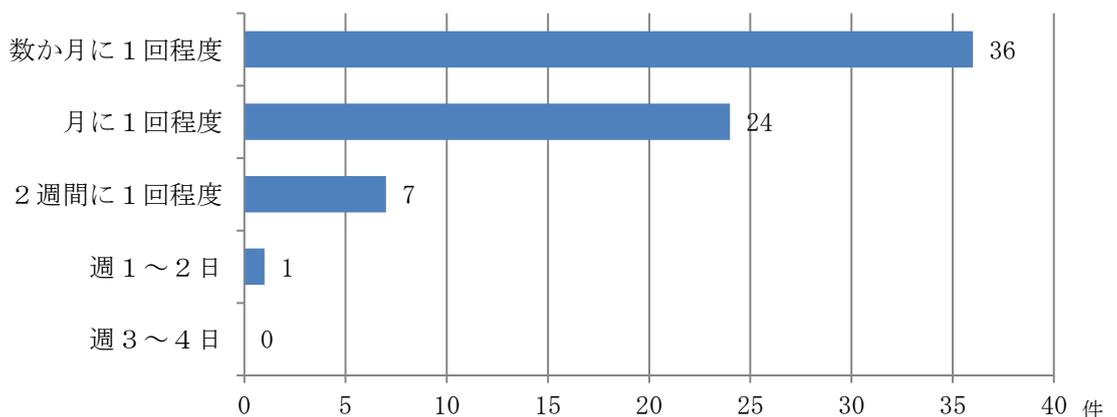
(回答件数=109)



現在のゆめこらぼの利用状況について聞いたところ、「利用している」が69件 (63%)、「利用していない」が40件 (37%)であった。

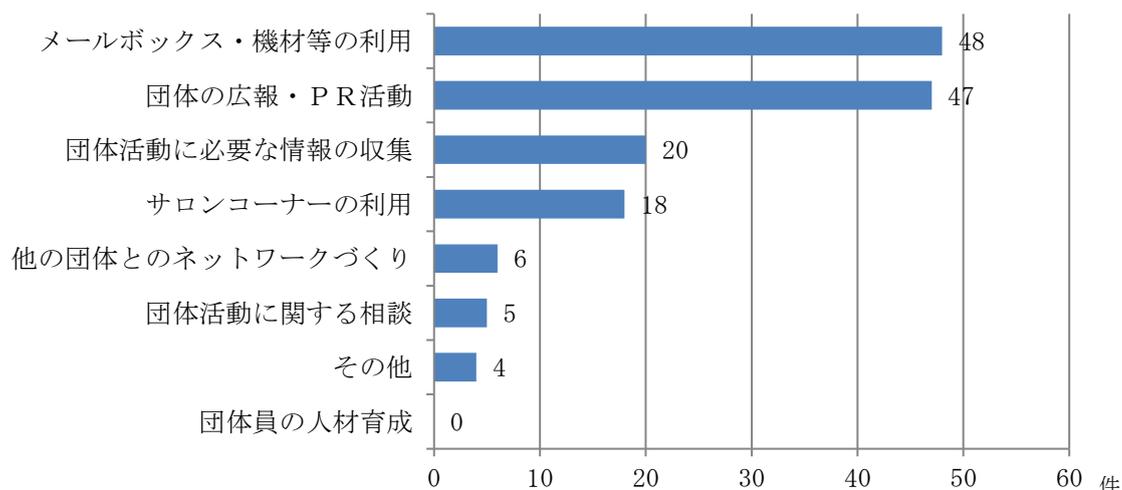
問16 問15で、「利用している」と回答した方にお伺いします。ゆめこらぼの利用頻度について、該当するものに○をつけてください。

(回答件数=68)



問15で、「利用している」と回答した団体において、ゆめこらぼの利用頻度について聞いたところ、「数か月に1回程度」が36件 (53%)と最も多く、次いで「月に1回程度」が24件 (35%)、「2週間に1回程度」が7件 (10%)であった。

問17 問15で、「利用している」と回答した方にお伺いします。
 ゆめこらぼの主な利用目的は何ですか？
 該当するものに○をつけてください。（複数回答可）（→回答後は問19へ）
 （回答件数=148）

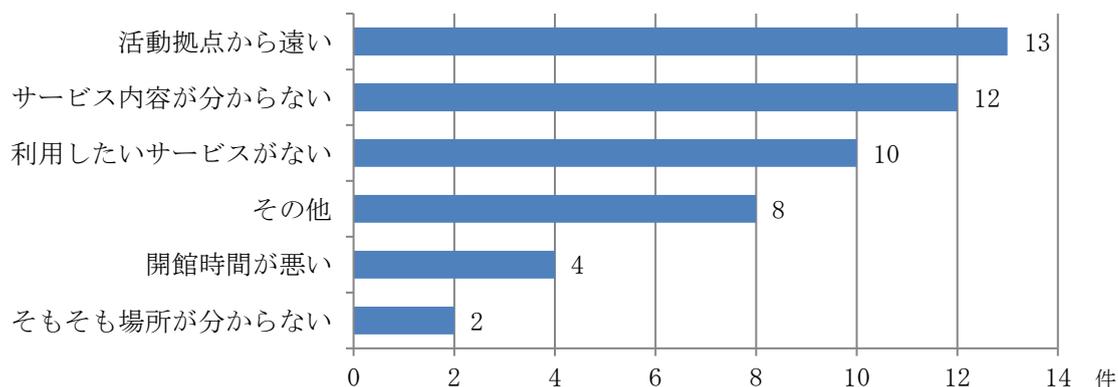


問15で、「利用している」と回答した団体において、ゆめこらぼの主な利用目的について聞いたところ、「メールボックス・機材の利用」が48件（32%）と最も多く、次いで「団体の広報・PR活動」が47件（32%）、「団体活動に必要な情報の収集」が20件（14%）であった。

なお、「その他」として、「NPO市民フェスティバルへの参加」などの回答があった。

問18 問15で、「利用していない」と回答した方にお伺いします。
ゆめこらぼを利用しない理由について、該当するものに○をつけてください。
(複数回答可)

(回答件数=49)

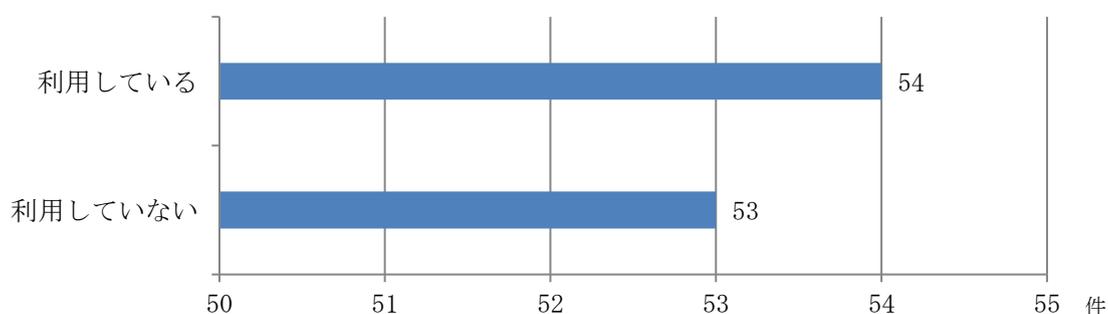


問15で、「利用していない」と回答した団体において、ゆめこらぼを利用しない理由について聞いたところ、「活動拠点から遠い」が13件 (27%) と最も多く、次いで「サービス内容が分からない」が12件 (24%)、「利用したいサービスがない」が10件 (20%) であった。

なお、「その他」として、「各市内公民館の利用で足りる」や「時間がない」、「自団体の施設・機材等で間に合っている」などの回答があった。

問19 ゆめこらぼホームページの利用状況について、該当するものに○をつけてください。

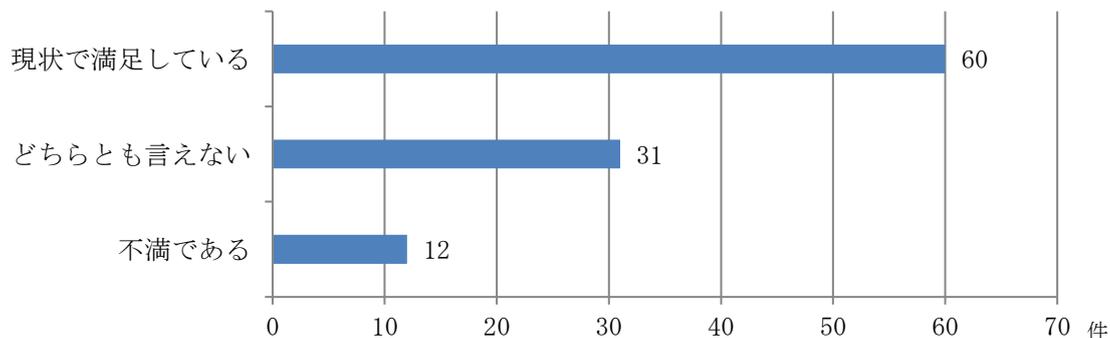
(回答件数=107)



ゆめこらぼホームページの利用状況について聞いたところ、「利用している」が54件 (50%)、「利用していない」が53件 (50%) であった。

問20 現在、ゆめこらぼの開館時間は10時～19時までです。
開館時間について、該当するものに○をつけてください。

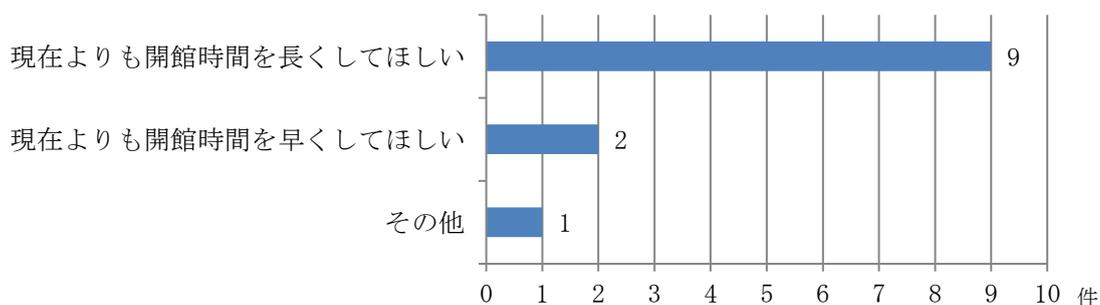
(回答件数=103)



現在のゆめこらぼの開館時間（10時～19時）について聞いたところ、「現状で満足している」が60件（58%）、「どちらとも言えない」が31件（30%）、「不満である」が12件（12%）であった。

問21 問20で、「不満である」と回答した方にお伺いします。
開館時間の希望について、該当するものに○をつけてください。
(複数回答可)

(回答件数=12)

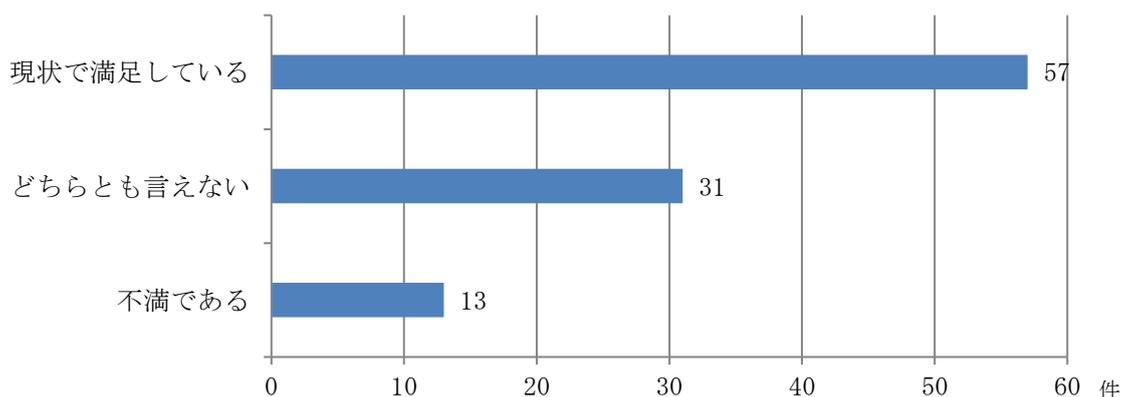


問20で、「不満である」と回答した団体において、開館時間の希望について聞いたところ、「現在よりも開館時間を長くしてほしい」が9件（75%）、「現在よりも開館時間を早くしてほしい」が2件（17%）、「その他」が1件（8%）であった。

なお、「その他」の回答は、「日曜日開館」であった。

問22 現在、ゆめこらぼの休館日は、毎週日曜日および年末年始です。
休館日について、該当するものに○をつけてください。

(回答件数=101)

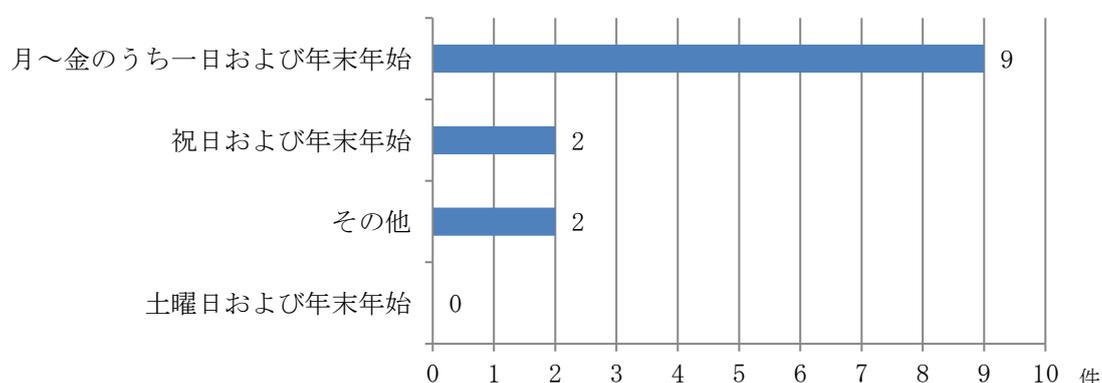


現在のゆめこらぼの休館日（日曜日および年末年始）について聞いたところ、「現状で満足している」が57件（56%）、「どちらとも言えない」が31件（31%）、「不満である」が13件（13%）であった。

問23 問22で、「不満である」と回答した方にお伺いします。

希望する休館日について、該当するものに○をつけてください。

(回答件数=13)

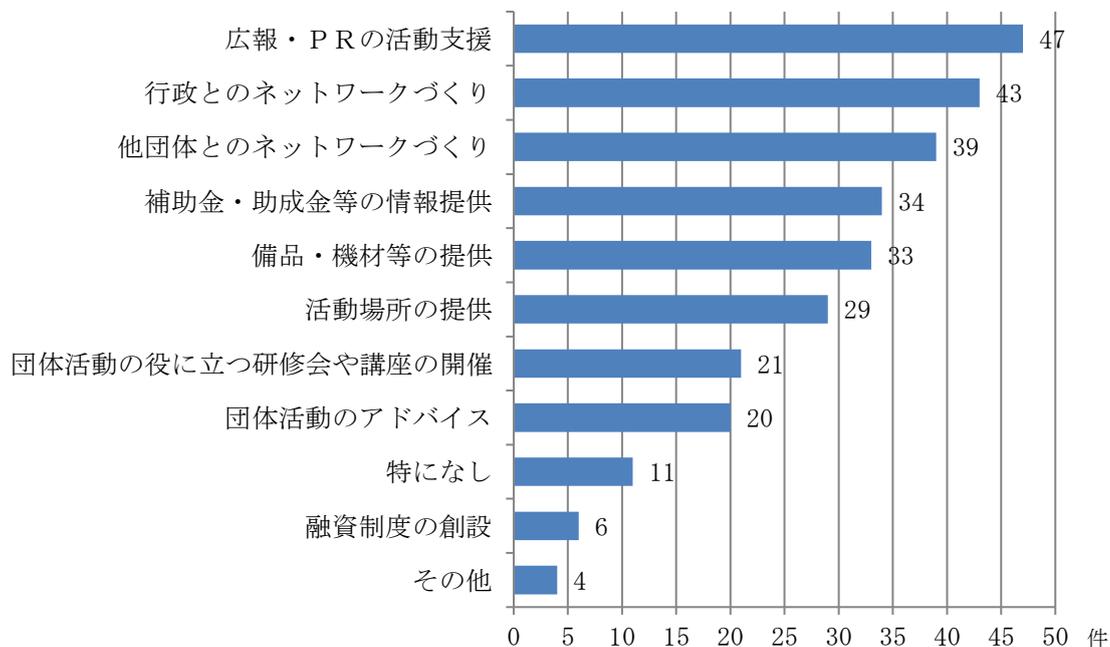


問22で、「不満である」と回答した団体において、希望する休館日について聞いたところ、「月～金のうち一日および年末年始」が9件（69%）と最も多く、次いで「祝日および年末年始」および「その他」が2件（各15%）であった。

なお、「その他」として、「祝日の開館は不要と感じる」や「日曜日に使えるようにしてほしい」という回答があった。

問24 今後、ゆめこらぼに求めることは何ですか？
該当するものに○をつけてください。

(回答件数=287)



今後、ゆめこらぼに求めることについて聞いたところ、「広報・PRの活動支援」が47件（16%）と最も多く、次いで「行政とのネットワークづくり」が43件（15%）、「他団体とのネットワークづくり」が39件（14%）であった。

なお、「その他」として、「団体運営のノウハウの提供」や「広い会議スペース・作業スペースの提供」などの回答があった。

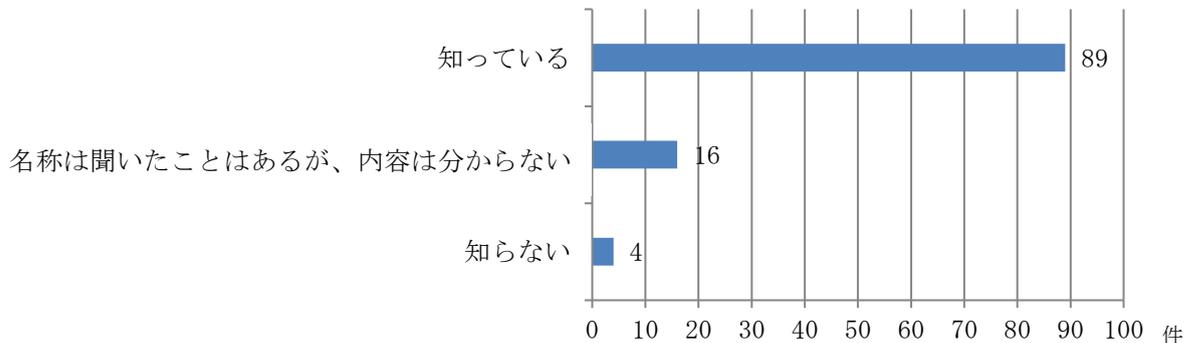
問25 その他、ゆめこらぼに関してご意見・ご要望等があればご自由にご記入ください。

(主なご意見・ご要望等は「6. 自由意見 (主なご意見)」にて後述)

4. 市との協働についてお伺いします。

問26 「協働」(※)という言葉を知っていますか？
該当するものに○をつけてください。

(回答件数=109)

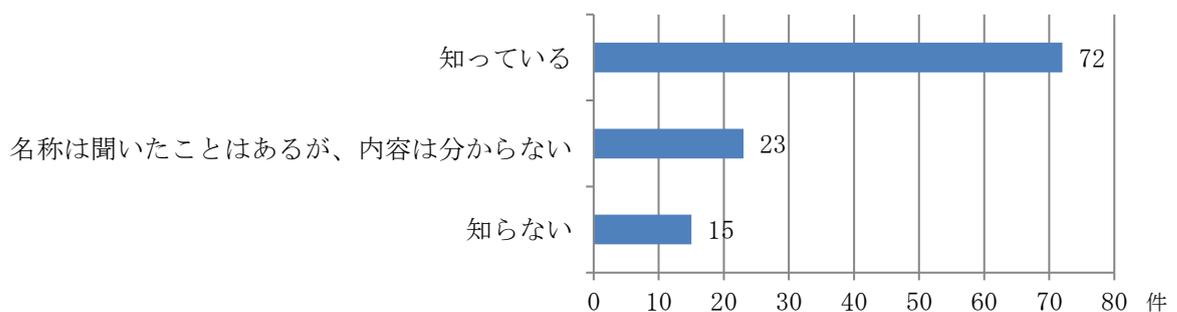


(※) 「協働」とは
NPO等市民活動団体・企業・大学・市が、「① 相互に対等な関係のもと、② 互いの特性や立場を十分理解し、認め合いながら、③ 共通する課題の解決や目標の実現に向けて協力すること」をいいます。

「協働」という言葉の認知度について聞いたところ、「知っている」が89件(82%)、「名称は聞いたことはあるが、内容は分からない」が16件(15%)、「知らない」が4件(4%)であった。

問27 NPO等企画提案事業(※)を知っていますか？
該当するものに○をつけてください。

(回答件数=110)

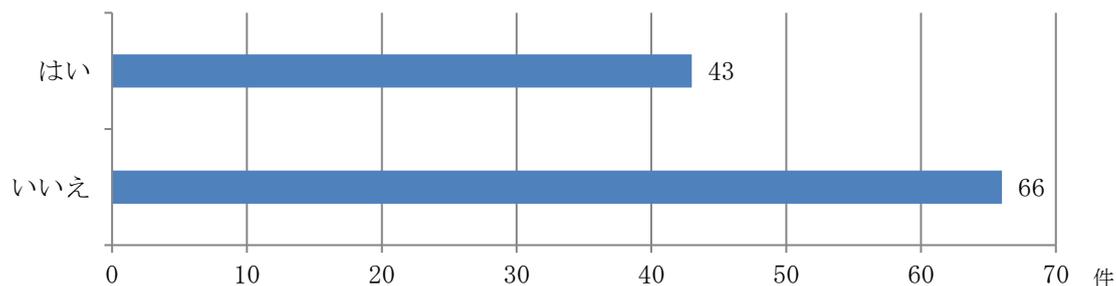


(※) 「NPO等企画提案事業」とは
NPO等市民活動団体と市とが、協働で地域課題の解決と市民サービスの向上に向けて取り組む事業です。採択事業には、その費用の一部として1事業につき上限20万円の補助金を交付します。

NPO等企画提案事業の認知度について聞いたところ、「知っている」が72件(65%)、「名称は聞いたことはあるが、内容は分からない」が23件(21%)、「知らない」は15件(14%)であった。

問28 団体のこれまでの活動の中で、市と協働で実施したことのある、あるいは現在、市と協働で実施している事業はありますか？（NPO等企画提案事業採択事業を含む）
該当するものに○をつけてください。

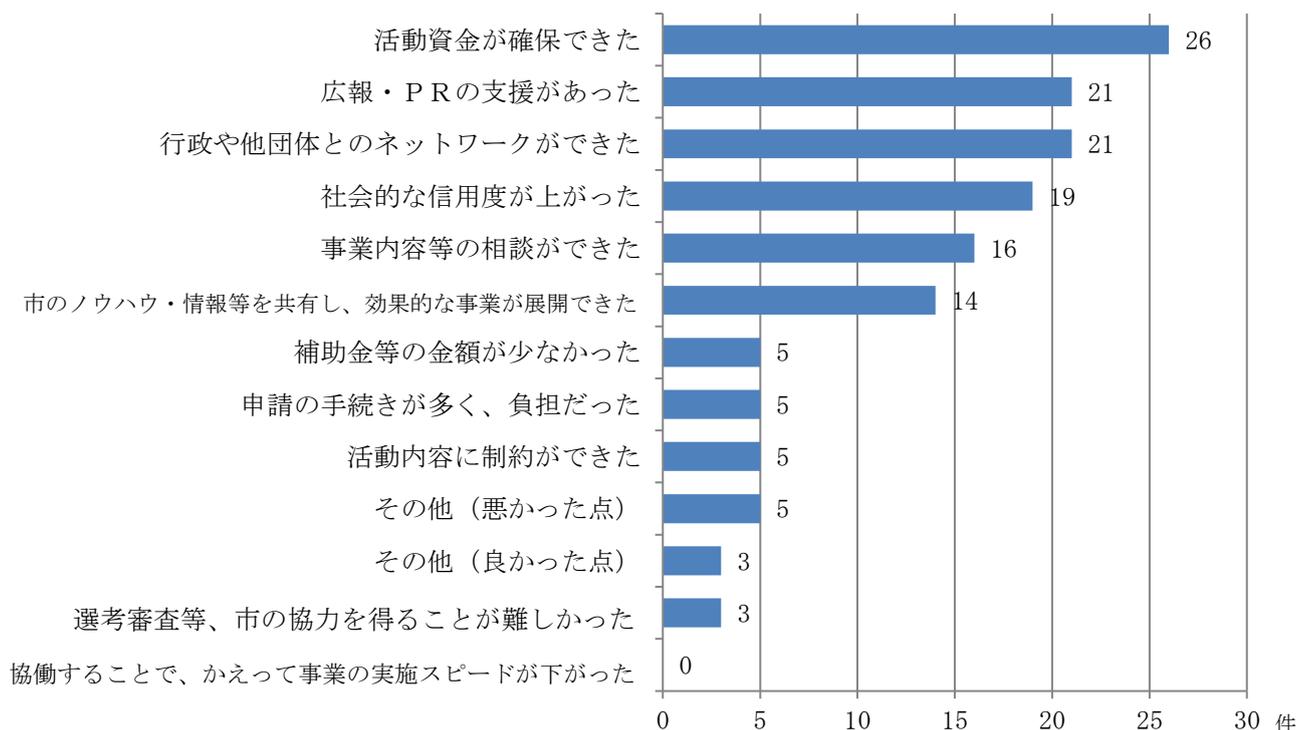
（回答件数=109）



団体のこれまでの活動の中で、市と協働で実施した事業、あるいは現在、市と協働で実施している事業の有無について聞いたところ、「はい」が43件（39%）、「いいえ」が66件（61%）であった。

問29 問28で、「はい」と回答した方にお伺いします。
市と協働して良かった点、悪かった点について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

(回答件数=143)

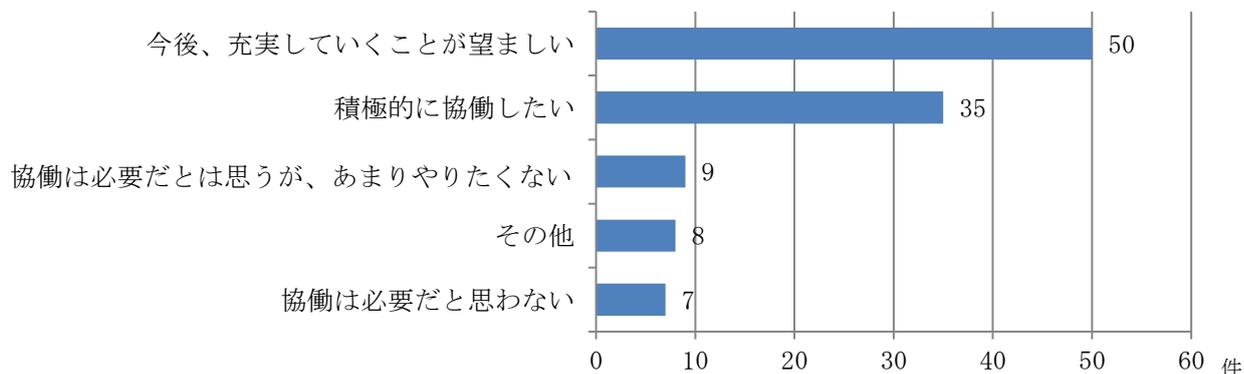


問28で、「はい」と回答した団体において、市と協働して良かった点、悪かった点について聞いたところ、「活動資金が確保できた」が26件（18%）と最も多く、次いで「広報・PRの支援があった」および「行政や他団体とのネットワークができた」が21件（各15%）であった。

なお、「その他」として、「市の中で協働の概念が浸透していない」、「協働先が具体的に見えにくい」、「団体の人件費が出ない」（以上、悪かった点）などの回答があった。

問30 市との協働に対する意向について、該当するものに○をつけてください。

(回答件数=109)

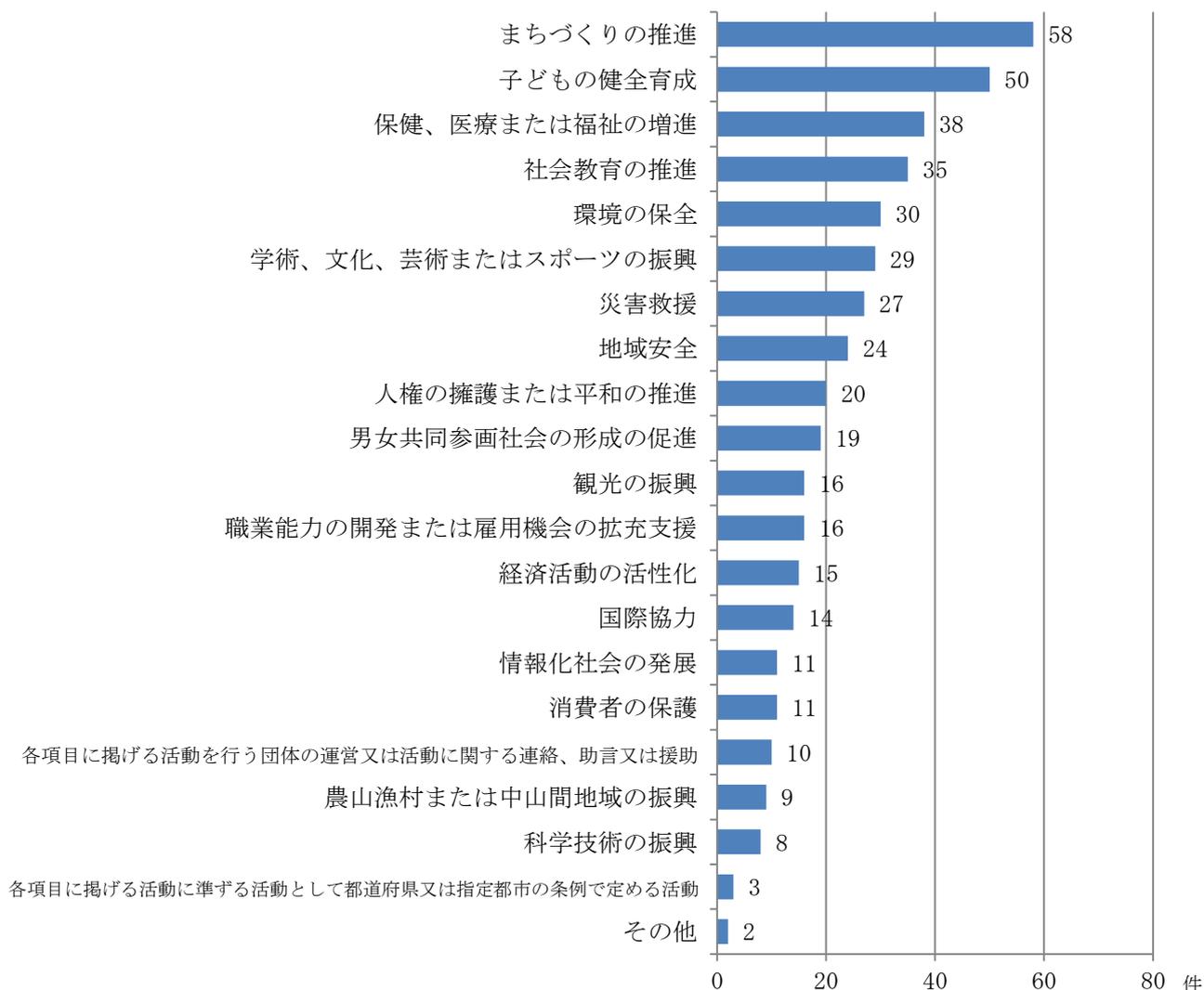


市との協働に対する意向について聞いたところ、「今後、充実していくことが望ましい」が50件（46%）と最も多く、次いで「積極的に協働したい」が35件（32%）、「協働は必要だとは思いますが、あまりやりたくない」が9件（8%）であった。

なお、「その他」として、「市が協働の対象としてくれるのなら（協働したい）」や「条件が整えば（協働したい）」などの回答があった。

問31 問30で、「協働は必要だと思わない」以外を回答した方にお伺いします。以下の活動分野の中で、市との協働が有効だと考える分野はありますか？該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=445）

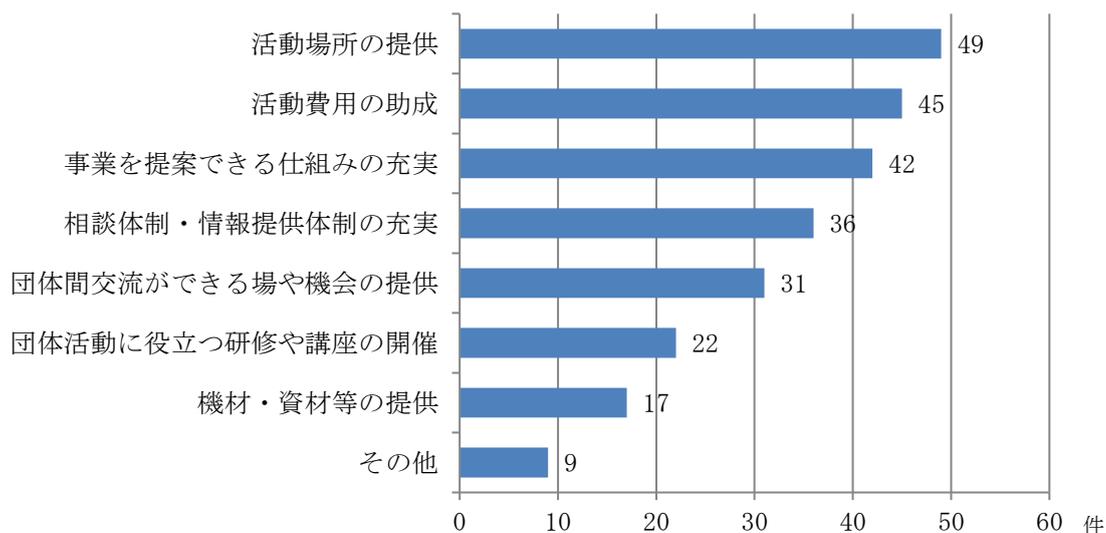


問30で、「協働は必要だと思わない」以外を回答した団体において、市との協働が有効だと考える分野について聞いたところ、「まちづくりの推進」が58件（13%）と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が50件（11%）、「保健、医療または福祉の増進」が38件（9%）であった。

なお、「その他」として、「高齢者への情報提供」や「子どもたちへの環境教育」などの回答があった。

問32 問30で、「協働は必要だと思わない」以外を回答した方にお伺いします。協働を進める上で、市に求めることは何ですか？該当するものに○をつけてください。（複数回答可）（→回答後は問34へ）

（回答件数=251）

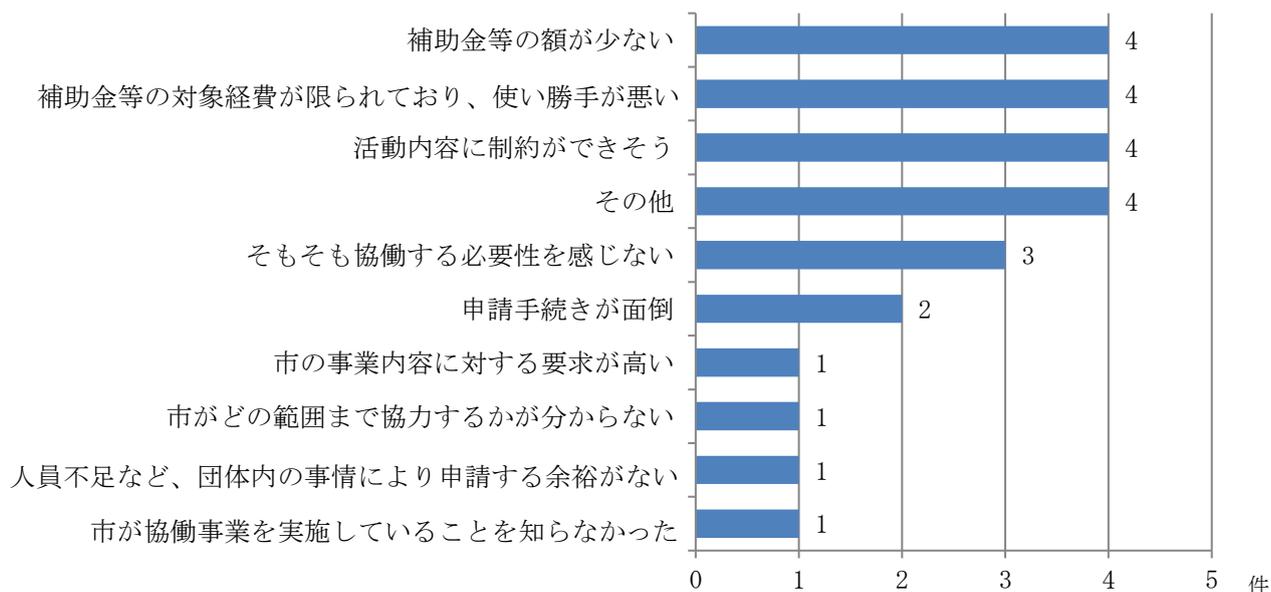


問30で、「協働は必要だと思わない」以外を回答した団体において、協働を進める上で、市に求めることについて聞いたところ、「活動場所の提供」が49件（20%）と最も多く、次いで「活動費用の助成」が45件（18%）、「事業を提案できる仕組みの充実」が42件（17%）であった。

なお、「その他」として、「協働に対する確かな理解と信頼関係」や「対等な関係での意思疎通、話し合い」、「職員の意欲」などの回答があった。

問33 問30で、「協働は必要だと思わない」を回答した方にお伺いします。市との協働を必要だと思わない理由について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=25）



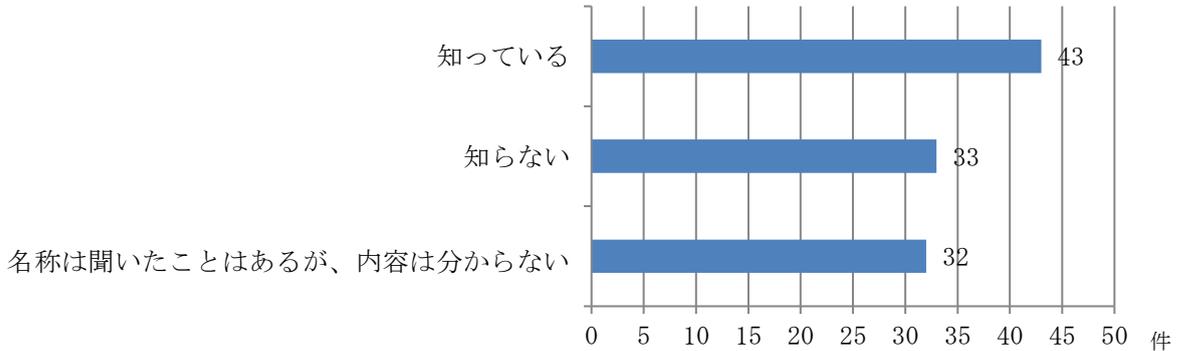
問30で、「協働は必要だと思わない」を回答した団体において、市との協働を必要だと思わない理由について聞いたところ、「補助金等の額が少ない」、「補助金等の対象経費が限られており、使い勝手が悪い」、「活動内容に制約ができそう」、「その他」が4件（各16%）であった。

なお、「その他」として、「（協働の可能性について）考えていない」や「協働をするような活動規模ではない」、「協働をする余裕がない」などの回答があった。

5. 「市民活動団体との協働の基本方針」についてお伺いします。

問34 「市民活動団体との協働の基本方針」(※)を知っていますか？
該当するものに○をつけてください。

(回答件数=108)

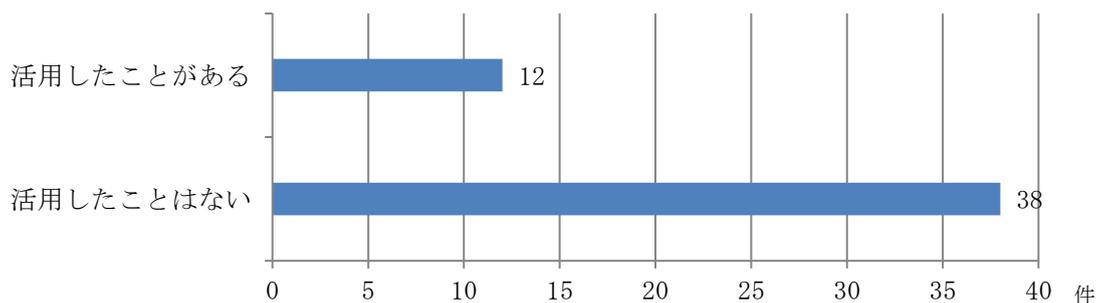


(※) 「市民活動団体との協働の基本方針」とは
平成20年に、NPO等市民活動団体と市が、相互に協力し合って地域課題を解決していく「協働」を進めていくための考え方や、市が協働の推進に向けて取り組むことをまとめた基本方針です。
策定に当たっては、市民活動団体および市民の皆さまとの意見交換会を開催し、ご意見をいただきました。

「市民活動団体との協働の基本方針」の認知度について聞いたところ、「知っている」が43件(40%)、「知らない」が33件(31%)、「名称は聞いたことはあるが、内容は分からない」が32件(30%)であった。

問35 問34で、「知っている」と回答した方にお伺いします。
団体の活動において、「市民活動団体との協働の基本方針」を活用したことはありますか？
該当するものに○をつけてください。

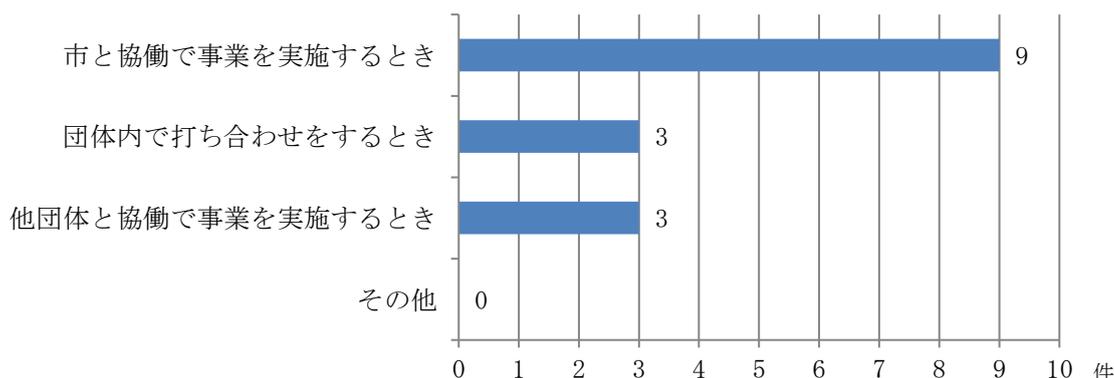
(回答件数=50)



問34で、「知っている」と回答した団体において、団体の活動において、「市民活動団体との協働の基本方針」の活用の有無について聞いたところ、「活用したことがある」が12件(24%)、「活用したことはない」が38件(76%)であった。

問36 問35で、「活用したことがある」と回答した方にお伺いします。
 「市民活動団体との協働の基本方針」を活用したのは、どのような場面ですか？
 該当するものに○をつけてください。（複数回答可）
 （→回答後は問38へ）

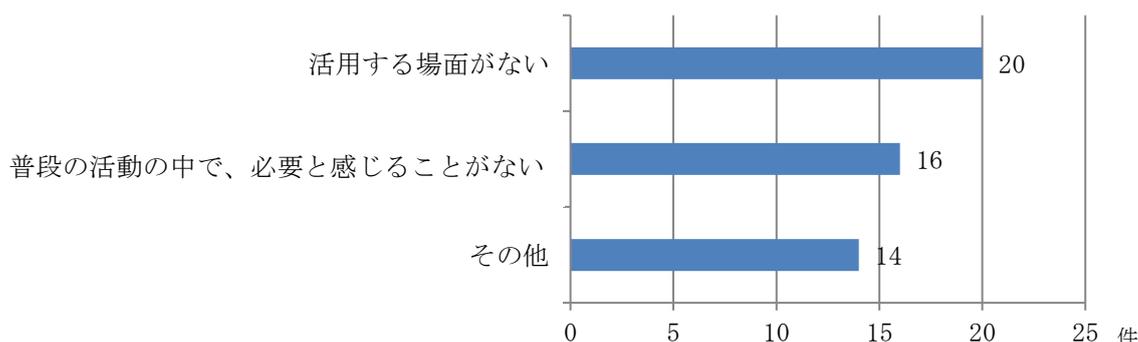
（回答件数=15）



問35で、「活用したことがある」と回答した団体において、「市民活動団体との協働の基本方針」の活用場面について聞いたところ、「市と協働で事業を実施するとき」が9件（60%）と最も多く、次いで「団体内で打ち合わせをするとき」および「他団体と協働で事業を実施するとき」が3件（各20%）であった。

問37 問35で、「活用したことはない」と回答した方にお伺いします。
 「市民活動団体との協働の基本方針」を活用しない理由について、該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

（回答件数=50）



問35で、「活用したことはない」と回答した団体において、「市民活動団体との協働の基本方針」を活用しない理由について聞いたところ、「活用する場面がない」が20件（40%）、「普段の活動の中で、必要と感じることがない」が16件（32%）、「その他」が14件（28%）であった。

なお、「その他」として、「今まで知らなかった」や「考えたことがなかった」などの回答があった。

問38 その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記入ください。

(主なご意見・ご要望等は「6. 自由意見(主なご意見)」にて後述)

6. 自由意見(主なご意見)

問25 ゆめこらぼに関して、ご意見・ご要望等があればご自由にご記入ください。

(回答件数=47)

- NPO市民フェスティバル等交流の場を積極的に作っていらっしゃいますが、活動分野別に交流会があるといい。
- ゆめこらぼ予算の拡大とその具体的要望
 - ・カラーコピー機の導入
 - ・拡大印刷(複写)できる機器の導入(現状のA3サイズより大きいサイズのプリント機能)
 - ・事務所エリアとは別部屋での20人程度で会議等開催できるスペース(の提供)
 - ・通信の発行や市民活動団体のネットワーク作り、情報提供、円卓会議の企画など、市民活動を推進するうえで、貴センターの存在は大きいと評価しますが、まだ中間支援組織機能を発揮し得ていないという課題があると思います。財政面や人材育成など難しい面があると思いますが、NPOを育てるセンターとしての機能強化を期待します。
- 広報支援はととてもありがたいです。
(ホームページへの団体情報、紹介冊子、イベントカレンダー、フェイスブック)
- 団体の運営や人材育成、資金の獲得などをお願いします。
- ミーティングスペースが狭いと思います。イングビル内で会議室を持って貰って無料で貸してほしい。
- 場所的には利用しやすいロケーションである。イングビル自体が暗い雰囲気積極的に利用したいと思わない。
- ゆめこらぼで働く人は大変だと思いますが、市民にとっては夜7時まででは利用できないのではないかと。
 - ・印刷機なども開いていればいつでも使えるのはありがたい。
 - ・機械やラミネーターなど大変助かっている。
 - ・職員が優秀である。

- 市民の周知度が低いように感じる。
ただのつなぎ役ではなく、訪れる人がいきいきできる場になると良い。
「市民協働」ということばが難しい。具体的にイメージしにくい。
日曜が休みなのは働く人には訪れにくいと感じる。スタッフはみなさん親切で誠意がある。

問38 その他、お気づきの点がありましたら、ご自由にご記入ください。
(回答件数=44)

- 時の流れに伴い、情報伝達のツールが大きく進んでいますが、市民や団体の情報の発信レベルは大きく異なります。世の中は高齢化なのでから。
- 市の方から各団体に呼びかけることも必要なのではないのでしょうか。団体側からどこに相談したら良いかはわからないです。市として、有効な活動をしている団体に注目し、相互に知恵を出し合うこともご一考ください。
- ・今の開館時間では、働いている人にとっては利用できないのではないかと思う。
・市民会館が閉館し、田無公民館の耐震工事を控え、打ち合わせや印刷機の利用等が増えることが考えられる。
・イングビルに空室があれば、ゆめこらぼで利用できるようにしてほしい。
・いつでも気軽に立ち寄り、相談やパソコン等についても教えてもらえるのはありがたい。
・ゆめこらぼの職員は親切である。
- 市の方で市報など、団体の広報をどんどんしてほしい。
- 広報協力、資金援助、支援先の紹介などの支援を望みます。地域活動を継続することが困難で限られた予算でしか活動を広げられないのが現状です。
- アウトデータを活用し、現状の改善・協働推進の具体化がされることを望むところです。よろしく願いいたします。
全職員の協働についての意識の向上、そのための研修の強化と協働の基本方針の共有化。
- 市の職員や委託先の職員及び市の施設の職員の意識改革。
- 沢山の団体があるのでいろいろな事例があると思います。わかりやすい事例を取り上げて、情報提供して下さると考え方がもっと前向きになり活用するにはどうしたら良いか?とか、このことで活用してみようかな?と気持ちが向くかもしれないと思います。

- ・同類のアンケートは、市職員・企業にも実施しましたか。協働の把握には両者の理解・努力が必要と思います。両者の齟齬や無理解を避けるためにも、現状課題の解決のためにも、市民だけでなく関係団体の生の声（意見）もお聞きしたい。
- ・基本方針にある「対等な関係」は可能か疑問に思うことがあるので、言葉だけでなく、見直しの時には対等とは何かを議論・検討していただきたい。
- ・ゆめこらぼの活性化にむけた提言。市民にゆめこらぼの所在・活動を知ってもらうための工夫をスタッフで話し合いました。
 - ① 駐輪場の西側通路をゆめこらぼ通路に。
 - ② 入口はいまより西側、道路から直に見える場所に移動する。
 - ③ 入口が移動することで、外の通りを歩く人にもチラシ看板や旗が見え、活動に興味を持つ人がでてくるかも。今のままでは何があるのかさえわからない。
 - ④ ゆめこらぼの職員にとっても、通りが見えることで市民への声掛けがより豊かになると思います。
 - ⑤ 外の壁はパブやカラオケの看板ばかりが目立つ。西側の壁に「明るく素敵なゆめこらぼの看板」をかけたらいかがでしょうか。「外側は大事だね」は市民感覚として侮れないようです。
- 今後活動をすすめていくうえで協働は必要と思っています。市・市民・企業など多くの方々のご協力をいただきたく存じます。